



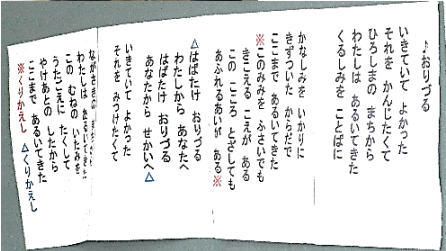
豊松協働支援センターだより・結い

令和4年9月15日
豊松協働支援
センター発行
第60号

笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり



豊松小学校では8月5日(金)の登校日に平和学習がありました。被爆者である「山本剛久さん」を講師に迎え、ご自身の経験をともに写真や絵等の資料で原爆の悲惨さを語られ、子ども達はとてもわかりやすく話を聞く事ができ、平和の尊さを学びました。その後、全校で「おりづる」の歌を歌いました。



8月25日(木)折鶴献呈に各協働支援センターと地域おこし協力隊から8名が行きました。神石高原町友会の3名の方と合流し広島平和記念公園内と「平和資料館」の見学をしました。改めて平和の尊さを考える1日となりました。

8月14日(日)豊松屋内グランド(旧豊松中学校体育館)で継承収録のための盆踊りがありました。コロナ対策のため消毒・検温・マスク等の徹底をしてお催いしました。この日のために地域住民の方の協力のもと「豊松納涼盆踊り保存会」を結成し準備を重ねてきました。歌い手の「矢違和志さん」「毛利国江さん」のラストソングという事もあり沢山の参加があり「二つ拍子」・「成羽拍子」・「大和拍子」・「てんがらこ」を1時間歌い・踊り続けました。今回のテーマは「継承」!!未来へ、大人から子ども達にバトンが引継がれます。



神石高原町協働支援センター連絡会議では「子ども交流会&とよまる公園で遊ぼう」を天候により「陽光の里多目的体育館」で行いました。町内の小学生14人が集まり、宝探し・竹とんぼ飛ばし・しっぽとりゲーム等スタッフや保護者、手伝いをしてくれました。そして、日頃交流のない学校の子ども達とも仲良くなり交流会の後で一緒にとよまる公園で遊びました。(8月21日)



●申込み・お問い合わせは
豊松協働支援センター【電話 0847(84)2226】

フェイスブック ホームページ 見てね♥

そば打ち教室がありました。先生と一緒に奮闘しておいしいそばができました。(8月6日)



「チョークアート教室」を開催しました。金谷めぐみ先生の指導のもと「新感覚」の芸術の制作に没頭しました。(8月23日)



野分(台風)の夜
書読む心
定まらず
正岡子規

意味…台風の夜は風が吹いて家が壊れたりしないかと不安になり本に集中ができない。

※第四級アマチュア無線養成講習会について
第四級のアマチュア無線講習会が次の日程で開催されますので、参加される方は神石協働支援センター(87-0331)または豊松協働支援センター(84-2226)へお申し込みください。
日時…10月29日(土)・30日(日) 午前9時30分
場所…神石協働支援センター(総合交流センターじんせき)
◎内容・受講料については申込者へ事前に通知があります。



「夏休みワクワク体験in仁吾川」を行いました。当日は有木自治振興会のトウモロコシもぎ取り体験に参加させていただきその後、仁吾川で川遊びをしました。子ども達は夏休みの一日を思いっきり楽しんだ後に自分ももぎ取ったとうもろこしを焼いて食べました。(8月7日)

保育所みこしが「わっしょい!わっしょい!」の元気なかけ声と共にとよまつ総合センターにやってきました。夏バテしていた心に元気をもらいました。(8月24日)



広告を募集します!!

◎料金
月額 1,500円 (豊松地区)
月額 3,000円 (豊松地区以外)
☆詳細は協働支援センターへお問い合わせください。

☆陶芸教室の参加者募集中☆

備前陶芸教室
～来年の干支を作りましょう!～

★日時 10月29日(土)
★場所 とよまつ総合センター(1階会議室)
★内容 備前焼で来年の干支「卯」を作ります。
★講師 陶芸家 木村憲次さん
★材料費 2,500円
★申込み 豊松協働支援センターへ
10/25(火)まで ☎84-2226

10月の別名として知られているのは「神無月(かんなづき)」ですが由来にはいくつもの説があり、最も知られているのが出雲大社に全国の神が集まるため神がいなくなることから「神無月」とついたというものでしょうか。そのため出雲地方では反対に「神在月(かみありづき)」と呼ばれます。明治のはじめに暦が変わってしまったためずれが生じていますがいまでも出雲大社では「出雲大社神在祭」が行われています。その他の別名には時雨の空模様が現れることから「時雨月(しぐれづき)」、霜が降りをはじめることから「初霜月(はつしもづき)」とも呼ばれます。



☎ 11月の各教室の予定

✪ 編み物教室

11月1日(火)・8日(火)

✪ ステンドグラス教室

11月5日(土) ☆10月の日程が変更になりました。

✪ ものづくり教室

11月19日(土)

